

実施日：7月17日（5校時）	
教科等：学級活動	
取組名：友だちと〇〇を合わせよう	
対 象：3年生	実施場所：教室
ア ねらい 「息」や「心」などを合わせる活動を通して、他者を理解しようとする態度を養う。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 [別紙①] 【児童・学級の実態】 ・ 先生や友だちの話を集中して聞くことが苦手な児童がいる。 ・ 相手の立場や気持ちを押し量ることが苦手な児童がいる。 【「〇〇を合わせよう」の学習】 ・ 「クラス目標」をふり返る。 「〇〇を合わせる」活動に取り組む。 (・人間時計 ・スパイをさがせ ・フラフープリレー) ・ ふり返りをさせ、楽しい雰囲気で行われるようにする。	
ウ 連携先：家庭	
エ 連携にむけての取組 ・ 他者理解につながる「話の聞き方」を校内研修の重点目標に位置付け、各学級で実践する。 ・ 本時の様子を学校だよりや学級通信等に掲載し、肯定的な人間関係を築いていこうとする取組を家庭に知らせる。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 ・ 「児童理解の会」を開催し、言葉づかいや「話の聞き方」を含めた学級の様子について点検・評価を行う。 ・ 児童のふり返り等を活用し、校内研修で活動の点検・評価をする。 ・ 学期に1回程度行う「授業アンケート」で人権意識について、他者理解につながる「話の聞き方」について点検・評価を行う。	
カ 評価の方法 ワークシート	
キ 成果 楽しい雰囲気での学習を終えることで、仲間意識を深めることができ、他者理解につながった。	
ク 課題 本時で学習した人間関係活性化の取組を継続的に取り組んでいきたい。	